

■□■2011年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会 ■□■

【時間】 16:00~17:30

【場所】 前期: W303 (4/28, 5/26, 6/23, 7/28), 後期: W304 (10/20, 11/17, 12/22, 1/26)

※報告は、一人あたり40分(報告15分, コメント5分, 質疑応答20分)。

No.	日時	報告者・論題	討論者
1	4/28	西部忠 The Trend of Economic Thinking of Market and Money: What is the Hayek's Position on the Issues?	生垣琴絵
		吉田昌幸 (上越教育大学) 現代資本主義における企業化活動の評価軸: 経済生活の多様化とその選択を促進する企業家性	橋本努
2	5/26	佐々木憲介 J.E.T.ロジャーズによる歴史の経済的解釈	松山直樹
3	6/23	松山直樹 The Source of Marshall's Thoughts on Economic Progress with a Focus on his Study of American Industry.	山本崇史
4	10/20	三上真寛 新制度派経済学における進化論とデザイン論	山本崇史
		小林陽介 「株主価値」経営と産業構造の転換—企業金融からの接近—	西部忠
5	11/17	宮崎義久 地域社会の持続的発展に向けた地域通貨の展望と課題—大恐慌期アメリカと現代日本の比較研究—	小林陽介
		生垣琴絵 アメリカにおける消費経済学の形成	三上真寛
6	12/22	Gilles Campagnolo (Directeur de Recherches CNRS/University of Provence, JSPS Research Fellow (2011)) Was the Austrian School a "Psychological" School in the realm of Economics in Carl Menger's view?	西部忠
7	1/26	山本崇史 関税改革論争におけるピグーの外国貿易論—貿易論への「厚生」概念の本格的な適用に関して—	松山直樹
		岡部洋寛 段階論に関する一覚え書き—重商主義をめぐって—	宮崎義久
8	2/16 16:00-16:55	橋本努 Ideological Categories in Economic Ethics	三上真寛
	2/16 17:05-18:00	西沢保 (一橋大学経済研究所) 「マーシャル—経済進歩と福祉国家・福祉社会」	佐々木憲介